

平成 30 年度

大学院総合医理工学研究科
(博士課程)

医学系専攻 保健学分野
【3 年制課程】

学生募集要項

信州大学

信州大学大学院受入れの方針

信州大学大学院は、以下のような能力や意欲を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- ・幅広い教養と専攻する分野の専門知識を持ち、さらに高度な専門的知識・専門応用能力を修得したい人
- ・知的好奇心が旺盛で、専門的課題や地域社会の抱える課題に主体的に取り組む人
- ・深い知性、論理的な思考力、豊かな人間性を備え、様々な分野でリーダーシップを発揮し、活躍したい人
- ・社会・環境・国際問題に関心をもち、創造力を活かし、グローバルに活躍したい人
- ・職業経験から獲得した知識・技能を高度化、深化させたい人

総合医理工学研究科（博士課程）医学系専攻 保健学分野受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

保健学分野では、以下のような能力や意欲を備えた人材を積極的に受け入れます。

- ・保健学の領域において、科学的・倫理的な思考に基づいて独創的かつ実践的な研究を遂行することに意欲のある人
- ・保健・医療・福祉の分野における大学あるいは大学院での教育・研究指導に意欲のある人
- ・保健・医療・福祉の現場において、高い倫理観と高度な専門知識に基づいた実践能力を持ち、指導的・専門的立場から課題を見つけ、自立的な研究を行うことに意欲のある人
- ・保健医療職者に対して、根拠に基づく実践（Evidence-based Practice）の概念に則ったエビデンスを構築するための質の高い臨床研究方法に関する指導を実践することに意欲のある人

1. 専攻・分野・ユニット及び募集人員

専攻	分野	ユニット	学位	募集人員
医学系	保健学	母子保健学	博士 (保健学)	6人
		成人保健学		
		老年保健学		
		医療生命科学		

2. 出願資格

医学系専攻保健学分野の出願資格を有する方は、看護師、助産師、保健師、臨床検査技師、理学療法士又は作業療法士等の資格を持ち、かつ、次の各号の一に該当する方とします。

- (1) 修士の学位若しくは専門職学位を有する方又は平成30年3月までに授与される見込みの方
- (2) 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された方又は平成30年3月までに授与される見込みの方
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された方又は平成30年3月までに授与される見込みの方
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された方又は平成30年3月までに修了し、授与される見込みの方
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された方
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた方
- (7) 文部科学大臣の指定した者《平成元年文部省告示第118号…【注】参照》
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた方で、平成30年3月31日までに24歳に達する方

【注】文部科学大臣の指定した者とは、次の各号のいずれかに該当する方です。

- 一 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- 二 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

3. 入学資格審査

『2. 出願資格(6)～(8)』により出願しようとする方は事前に担当係と指導を希望する教員に問い合わせのうえ、次の手続を行い、入学資格審査を受け、認定された後に出願してください。

(1) 入学資格審査申請書類受付

受付期間 平成29年11月6日(月)～11月10日(金)(郵送の場合は簡易書留郵便とし、受付期間内に必着とする。)

受付時間 9時～17時

提出先 信州大学医学部大学院係

〒390-8621 松本市旭3丁目1番1号

(2) 申請書類(※印は本分野所定の用紙)

①出願資格（7）に該当する方

※入学資格審査申請書 (様式9)	必要事項を記入してください。
※志望理由書(様式4)	本分野を志望する理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
※研究歴証明書(様式10)	大学, 研究所等において研究に従事した期間を証明するもの
※研究業績目録(様式11)	学術論文等を別刷又は写しで添付してください。
最終学歴に関する 証明書	出身大学の卒業証明書及び成績証明書(厳封したもの)

②出願資格（6），（8）に該当する方

※入学資格審査申請書 (様式9)	必要事項を記入してください。
※志望理由書(様式4)	本分野を志望する理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
在職期間等の証明書	在職期間及び職種について, 勤務先の所属長が作成したもの(様式任意)
※研究業績目録(様式11)	学術論文等を別刷又は写しで添付してください。
学修に関する資料	出身大学のカリキュラムが確認できるもの
最終学歴に関する 証明書	出身大学の卒業(修了)証明書及び成績証明書(厳封したもの) 出願資格(6)に該当する方は, 合格証明書(当該審査における合格基準等の資料を含み, 出身大学が作成したもの)

(3) 資格審査

入学資格審査は, 提出された申請書類における職歴, 研究歴, 研究業績等を総合的に勘案して行います。

(4) 結果通知

審査の結果は, 平成29年11月14日(火)に本人あてに通知書を送付します。入学資格を認定された方は, 出願手続を行ってください。

4. 出願手続

(1) 出願受付期間

平成29年11月15日(水)～11月21日(火)(郵送の場合は簡易書留郵便とし, 受付期間内に必着とする。)

受付時間 9時～17時(ただし, 土曜日と日曜日は受け付けません。)

(2) 出願書類等提出先

信州大学医学部大学院係

〒390-8621 松本市旭3丁目1番1号

(3) 出願方法

「(4) 出願書類等」を一括して郵送又は持参してください。なお, 郵送の場合は, 封筒の表に「大学院博士課程保健学分野入学願書在中」と朱書きし, 必ず簡易書留としてください(出願期間内必着)。出願書類受理後, 受験票を本人あてに送付します(11月22日以降に発送)。

(4) 出願書類等 (※印は本分野所定の用紙)

※入学志願票 (様式 1)	必要事項を記入してください。
※履歴書 (様式 2)	高等学校卒業から現在に至る経歴 (国家試験合格を含む。) を年次順に、もれなく記入してください。
※受験票・写真票 (様式 3)	写真 (出願日前 3 か月以内に撮影した、縦 4 cm×横 3 cm、上半身、無帽、正面向きのもの) をそれぞれに貼り付けてください。
※志望理由書 (様式 4)	本分野を志望する理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
※受験承諾書 (様式 5)	志望するユニットの担当教員が作成したもの
※受験及び修学承諾書 (様式 6)	入学後も引き続き勤務する所属組織がある場合は、所属長が作成した受験及び修学承諾書を提出してください。
※宛名票 (様式 7)	合格通知書等の送付先を記入してください。
※外国人留学生申請書 (様式 8)	外国人志願者のみ提出してください。
卒業証明書	出身学部の卒業証明書 (本学医学部出身者は不要)
修士 (博士前期) 課程修了 (見込) 証明書	出身大学院の修了 (見込) 証明書 (本学医学系研究科出身者は不要)
成績証明書	出身学部の成績証明書 (厳封したもの) 修士 (博士前期) 課程修了 (見込) 者は、修士 (博士前期) 課程の成績証明書も提出してください。 (本学医学部・医学系研究科出身者は不要)
※入学検定料納付確認書 (A 票)	<p>① 入学検定料 30,000 円をこの募集要項に添付する振込依頼書 (C 票) を使用して、平成 29 年 11 月 8 日 (水) から 11 月 21 日 (火) までの間に金融機関から電信扱いで振り込んでください。振込みには、別途振込手数料が必要です。なお、ゆうちょ銀行からの振込みはできません。また、ATM (現金自動預支払機)、携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。</p> <p>② 振込み後、納付確認書 (A 票) 及び領収書 (B 票) を受け取り、A 票、B 票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、納付確認書 (A 票) を提出してください。 また、「取扱金融機関収納印」欄に、平成 29 年 11 月 21 日 (出願期間最終日) までの日付の収納印があるものに限り有効となりますので、特に出願期間最終日に振り込まれる場合は、金融機関の窓口の受付時間を確認のうえ、振込みを行ってください。</p> <p>③ 出願期間最終日に持参により提出する方で、金融機関の窓口業務取扱時間内に振込みができなかった方についてのみ、現金による納付を受け付けます。</p> <p>* 本学の大学院博士前期課程 (修士課程) を修了見込みの方は、入学検定料は不要です。</p>

受験票送付用封筒	長形3号(120mm×235mm)の封筒に郵便番号、住所及び氏名を明記して82円分の切手を貼ってください(ご自身で封筒をご用意ください)。
住民票の写し	外国人志願者のみ提出してください。 「住民票の写し」(市区町村長が発行したもの)を提出できない場合は、「パスポート(身分事項のページ)」のコピーを提出してください。

5. 選抜方法等

入学者の選抜は、筆答試験(外国語(英語))、面接試問の結果及び出願書類等を総合して行います。

- (1) 筆答試験については、辞書(医学用語辞典を含む。)の持ち込みを可とします。ただし、電子辞書及び辞書機能をもつ電子機器類は不可とします。
- (2) 面接試問は、志望する専攻科目について行います。

試験日時・場所

期日	時間	試験科目等	試験場
平成29年 12月17日(日)	10:00~11:30	外国語(英語)	信州大学医学部 保健学科
	13:00~	面接試問	※詳細は受験票送付時に通知します。

6. 合格発表

平成29年12月21日(木) 10時

大学院公用掲示板(医学部保健学科中校舎玄関前屋外)に掲示するとともに、同日中に合格者に対し合格通知書を発送し、公式発表とします。また、信州大学大学院ホームページに合格者の受験番号を発表しますが、必ず合格通知書又は掲示板で確認願います。

なお、電話やメール等での合否のお問い合わせには応じられません。

7. 入学手続

合格者は、次により入学手続を行ってください。なお、詳細については合格通知書に同封してお知らせいたします。

(1) 入学手続期間

平成30年1月9日(火)~1月19日(金)(郵送の場合は簡易書留郵便とし、受付期間内に必着とする。)

受付時間 9時~17時(ただし、土曜日と日曜日は受け付けません。)

(2) 入学手続場所

信州大学医学部大学院係

〒390-8621 松本市旭3丁目1番1号

(3) 入学料の納入等

- ①銀行振込により所定の入学料を納入してください。
- ②既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。
- ③入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度(授業料のみ)があります。

(4) 手続に当たっての注意事項

入学手続締切り期日までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものと
して取り扱います。

8. 障害等のある方の事前相談

本学に入学を志願する方で、障害等のために、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、
出願の前に信州大学医学部大学院係へご相談ください。

9. 注意事項

(1) 本分野に入学を希望する方は、あらかじめ志望するユニットの担当教員と研究内容等につ
いて相談のうえ、出願してください。

(2) 受理した出願書類及び検定料は、どのような理由があってもお返しできません。また、
提出後の記入事項の変更は認めません。なお、検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は
振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されな
かった）場合は、本人の請求により納入された検定料（二重に振り込んだ場合は重複して
納入された分）の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ（入学検定
料返還手続）をご覧ください。（http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/return.html）

(3) 出願手続後、現住所又は緊急連絡先に変更が生じたときは、速やかに信州大学医学部大
学院係に連絡してください。

信州大学医学部大学院係
〒390-8621 松本市旭3丁目1番1号
電話 (0263) 37-3376 (直通)

総合医理工学研究科（博士課程）医学系専攻保健学分野 入学案内

1. 標準修業年限 3年 ※

※長期にわたる履修制度があります。

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出たときは、最長で6年間、その計画的な履修が認められることがあります。

2. 履修方法・修了要件

本分野において3年以上在学し、研究科共通科目2単位（必修）、専攻共通科目4単位（必修2単位、選択必修2単位）、分野共通科目2単位（必修）、専門科目10単位（必修8単位、選択必修2単位）の合計18単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

3. 授与される学位

博士（保健学）の学位が授与されます。

4. 入学料・授業料

入学料 282,000円

授業料（前期）267,900円（後期）267,900円

金額は平成29年4月現在のものであります。入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、合格通知書に同封してお知らせします。

なお、本学の大学院修士課程（医学系研究科博士前期課程保健学専攻）を修了し、引き続き博士課程に進学する方は、入学料を納付する必要はありません。

5. 奨学金

大学院学生を対象とした日本学生支援機構による奨学金制度があります。

貸与額は月額80,000円と122,000円（第一種奨学金 平成29年度）から選択できます。なお、学業成績及び研究能力、家庭の経済的事情等を考慮して選考が行われます。

総合医理工学研究科（博士課程）医学系専攻保健学分野 研究案内

※ 各メールアドレスの後の「shinshu-u. ac. jp」を省略してあります。

専攻	分野	ユニット	担当教員 メールアドレス	内容
医学系	保健学	母子保健学	市川 元基 mtichik@	[専門領域] 小児医学 [研究内容] 小児の発達神経学, 神経免疫学に関する研究を行っている。
			金井 誠 makotok@	[専門領域] 周産期医学, 地域医療, 臨床遺伝 [研究内容] 妊娠高血圧の病態解明と発症予知に関する研究, 早産回避の治療に関する研究, 地域における産科医療提供体制維持に関する研究, 出生前診断に関する研究
			玉井 真理子 mtamai@	[専門領域] 臨床心理学, 生命倫理学 [研究内容] 周産期における親子関係構築に対する心理的援助, 遺伝医療における臨床心理学的介入の実際, 出生前診断と中絶をめぐる生命倫理, 重症新生児の選択的治療停止問題と生命倫理, ニューロエシックス, ほかに生命科学技術関連の倫理問題全般
		成人保健学	木村 貞治 tkimura@	[専門領域] スポーツ理学療法, 運動学習, 虚弱高齢者の運動指導 [研究内容] スポーツ選手に対するスポーツ理学療法の介入効果に関する研究や, その背景にある神経生理学的特性の変化についての研究を行っている。運動学習では, 脳の機能的特性に基づいた理学療法の方略についての検討を行っている。虚弱高齢者の運動指導では, 継続的な運動指導の在り方やその効果についての研究を行っている。
			百瀬 公人 kmomose@	[専門領域] 運動学, 呼吸循環の理学療法, 急性期の理学療法 [研究内容] 1) 3次元動作解析装置, 筋電図, 床反力計, 加速度計などを用いた健常者および障害者の動作解析, 2) 呼吸・循環器障害の治療における理学療法とその効果, 3) 中枢神経系疾患における急性期の理学療法のありかた, 4) 理学療法の評価法などに関する研究を行っている。
			小林 正義 mkobaya@	[専門領域] 精神障害作業療法学, 精神障害リハビリテーション学, 認知行動科学 [研究内容] 1) 精神障害の早期リハビリテーション・早期作業療法・地域生活支援技術に関する研究, 2) 統合失調症とうつ病の認知行動療法に関する研究, 3) 自動車運転技能に関連する認知行動評価に関する研究, などを行っている。
			池上 俊彦 tikegami@	[専門領域] 外科学, 地域医療 [研究内容] 肝移植を受けた患者におけるQOL改善のための研究や病診連携・病病連携に関する研究
			伊澤 淳 izawa611@	[専門領域] 循環器内科学: 動脈硬化, 心不全, 高血圧 [研究内容] 心血管疾患の発症予防(一次予防), 地域の自治体および医師会との連携による疫学研究: 青少年の生活習慣病予防, 歯周疾患と全身疾患の関連について
			Goh Ah Cheng gohac@	[専門領域] 運動器疾患の理学療法, 臨床的推論, 臨床運動学, 物理療法 [研究内容] 物理療法の基礎研究(動物試験)および物理療法の効果(臨床的な研究)の研究を行っている。
			山崎 浩司 hryamazaki@	[専門領域] 死生学, 医療社会学, 質的研究 [研究内容] 死別体験者に支援的なまちづくりの検討(長野県・中信地方の有志市民との協働), いのちがテーマのマンガを題材にした死生学的考察, 若年配偶者死別の研究にとりくんでいる。また, 修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ(M-GTA)を中心に, 質的研究法に関する研究も行なっている。
			上村 智子 tkamimu@	[専門領域] 作業療法学, 生活支援科学, 高齢者のリハビリテーション [研究内容] 脳卒中や認知症疾患などの加齢性疾患を有する人のリハビリテーションプログラムの開発と標準化の研究を行っている。研究対象は福祉用具や住宅改修と動作学習を組み合わせたプログラムとプログラムの成果評価の開発である。入院・入所から在宅へのスムーズな移行と在宅生活の継続を促すシステム構築に資する研究を行う。

医学系	保健学	老年保健学	會田 信子 aida@	[専門領域] 老年看護学 [研究内容] 1) 高齢者ケア実践・技術に関する研究, 2) 高齢者ケアに従事するスタッフの心理・社会的課題に関する研究, 3) 老年看護学における教育方法や課題に関する研究, 4) 多職種連携教育の方法論と評価に関する研究
			杉山 暢宏 nsugi@	[専門領域] 精神医学, 神経内分泌学, 性差医学 [研究内容] うつ病, 躁うつ病の発症メカニズムを, 神経内分泌学的な視点から研究している。特に女性ホルモンの神経系への作用に注目して, 医学部精神医学教室や医学部附属病院精神科と共同で検討している。
			横川 吉晴 fhakuba@	[専門領域] 健康科学, 公衆衛生学, 高齢者に対する理学療法 [研究内容] 高齢者の障害の発生の遅延, 活動能力の保持を目的として, 農村部を対象として縦断的に調査, 介入を行い, その評価の研究を行っている。
			務台 均 hitmutai@	[専門領域] 身体障害作業療法学 [研究内容] 1) 脳卒中や整形疾患に対するリハビリテーションの効果や長期予後に関する研究, 2) 脳卒中に合併する精神症状, 疲労および認知機能障害に関する研究。
	医療生命科学		太田 浩良 hohta@	[専門領域] 診断病理学 (消化管病理), 組織化学 [研究内容] ヘリコバクター感染により惹起される消化管粘膜病変の病態解析および消化管粘膜への分化を示す腫瘍 (胃腸型腫瘍) の組織発生と診断について, 組織化学的方法論を中心に, 分子生物学的な方法論等も取り入れ研究を行っている。
			藤本 圭作 keisaku@	[専門領域] 呼吸機能検査学, 睡眠検査学, 呼吸器内科学 [研究内容] 主に気管支喘息, 慢性閉塞性肺疾患などの閉塞性肺疾患及び睡眠呼吸障害の病態を種々の呼吸機能検査機器, 生体モニタ装置, 画像解析, バイオマーカーを駆使して解明すると共に, 企業との共同研究により新しい生体モニタ及び検査機器の開発・検証を行っている。
			奥村 伸生 nobuoku@	[専門領域] 臨床化学, 遺伝子検査学, 免疫検査学, 臨床検査学 [研究内容] 臨床検査値に異常を来たすフィブリノゲン異常症・欠損症において, 機能異常を解明するためにリコンビナントタンパクを作製し, また, 欠損原因を解明するために分子生物学的な方法で研究を行っている。さらに, 医学部附属病院臨床検査部と共同で各種血漿蛋白異常症・欠損症の蛋白検査・遺伝子検査による同定を行っている。
			寺田 信生 nobuot@	[専門領域] 蛋白複合体からみた生体の構造解析; 解剖学-組織学-細胞生物学 [研究内容] 細胞の接着やシグナル伝達に関わる, 細胞膜内~膜骨格における構成蛋白を同定する。それら蛋白複合体の, 生体機能を反映した局在や蛋白間の相互関係さらに個体レベルでの機能を検討しながら, 人体における役割を明らかにする。そのために形態学・細胞組織化学・生化学・分子細胞生物学の基本的な手技を修得して自由に使えるようにし, さらに顕微鏡によって可視化する解析法の開発も行う。
			石田 文宏 fumishi@	[専門領域] 血液学, 血液検査学 [研究内容] 血液腫瘍性疾患, 特に悪性リンパ腫を対象に, 遺伝子異常と臨床病態の関連を明らかにするための研究を行っている。また, 血液細胞形態や血栓止血領域での新規検査法開発を目指した研究を行っている。
			長野 則之 naganon@	[専門領域] 薬剤耐性菌制御学, 感染制御学, 病原微生物学 [研究内容] 新生児や高齢者の B 群レンサ球菌侵襲性感染症の第一選択薬であるペニシリンに耐性を獲得したペニシリン低感受性 B 群レンサ球菌の分子学的解析を行っている。また, 世界的な蔓延が懸念されている薬剤耐性グラム陰性桿菌を中心に薬剤耐性メカニズムの解析や分子疫学的解析および病原性解析などを行っている。
			矢崎 正英 mayazaki@	[専門領域] 神経内科学, 代謝学, 蛋白化学 [研究内容] アミロイドーシスの新規診断法開発。微小生検組織からのアミロイド蛋白の解析法の確立と病態解析への応用。

医学系	保健学	医療生命科学	青木 薫 kin29men@	<p>[専門領域] 整形外科学, リハビリテーション医学, 骨軟部腫瘍医学, バイオマテリアル開発</p> <p>[研究内容] 1) 整形外科・リハビリテーション・骨軟部腫瘍の臨床研究, 2) 骨軟部腫瘍の治療法の開発, 評価, 3) 整形外科領域新規バイオマテリアルの開発, 生体安全性評価などについての研究を行っている。</p>
-----	-----	--------	-------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

この募集要項に関する照会先

信州大学医学部大学院係

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号

TEL 0263 (37) 3376 (直通)

FAX 0263 (37) 3080

※個人情報の利用について

信州大学における入学試験を通して取得した個人情報については、入学試験のほか次の目的のために利用します。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 学習指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。